

蟹江町町長選挙のためのマニフェスト ～サステナブルな木曽川流域をめざして～

中部サステナ政策塾 第7期塾生 木曽川流域圏グループ
袴田将仁, 豊田峻輔

「中部サステナ政策塾」のマニフェストづくりと流域圏思考

公約1. 健康をととのえる

→誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり

具体的方策（政策）

・温泉でととのう
→愛知県で唯一の日本名湯
百選尾張温泉の魅力発信



尾張温泉ウェブサイトより



this is FINLAND ウェブサイトより

・サウナでととのう
→フィンランドサウナやテントサウナを活用
→尾張温泉や交流センター祭人などで交流イベント

交流センター祭人

いなまんじゅう

・水でととのう
→木曽川の井戸水を活用
→水辺でリラックス

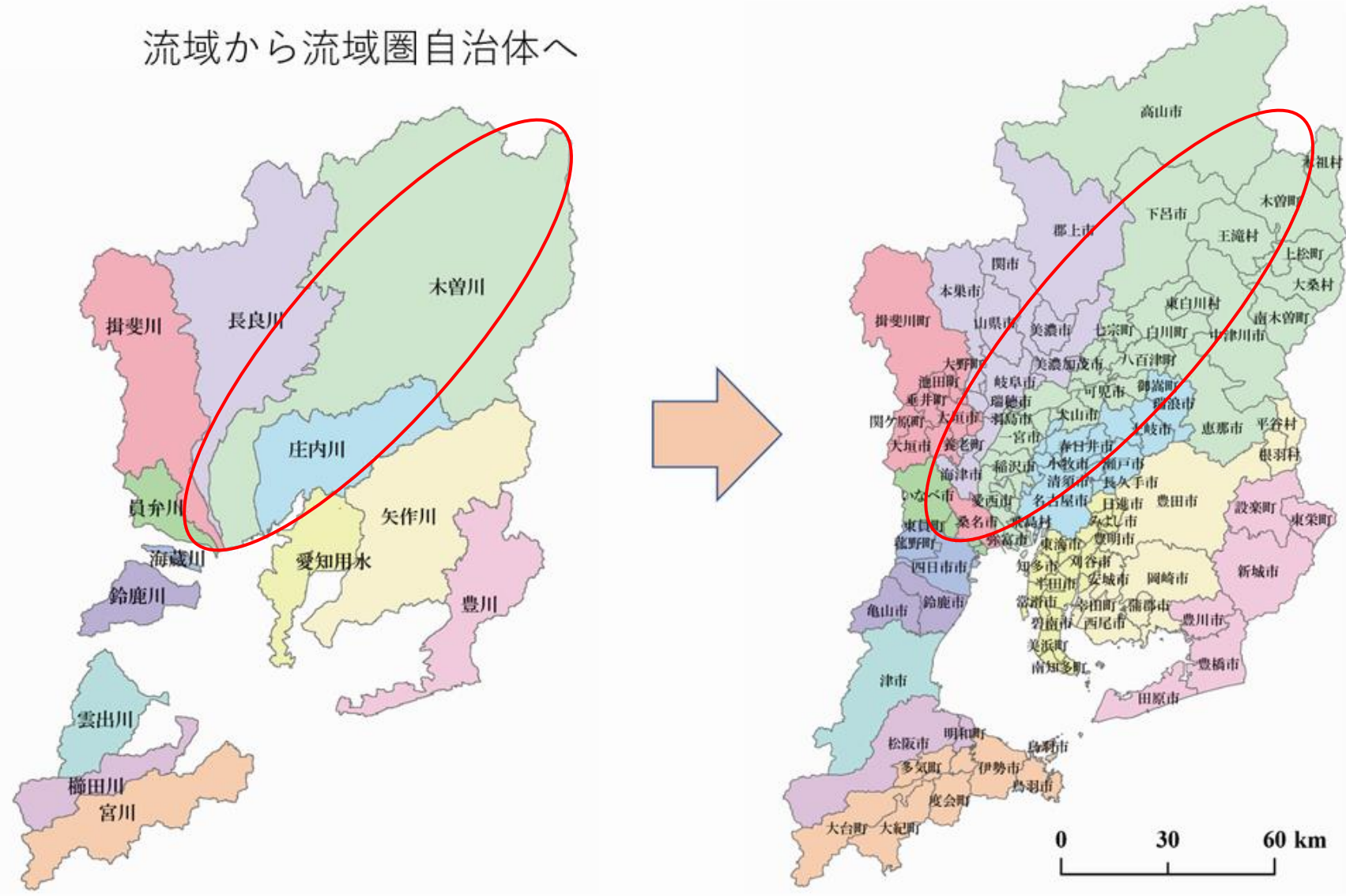


祭人ウェブサイトより



・おなががととのう
→蟹江名物いなまんなどの発酵食品で腸内細菌をととのえる

流域から流域圏自治体へ



蟹江町長選挙 マニフェスト 「水郷のまち蟹江をととのえる」



蟹江川



日光川



佐屋川



人口約37,000人
名古屋駅から電車で約10分
5つの河川が流れる水郷のまち
濃尾平野の都市と田舎の中間地域

公約2. 環境をととのえる

→流域全体のまちづくり

具体的方策（政策）

・流域でととのう
→須成祭に用いられるヨシの水質浄化作用に着目
→人もヨシも住みやすい環境をつくる
→流域で協力して環境を保全する・ゴミを減らす



ヨシ



ユネスコ無形文化遺産
に登録された須成祭

・防災・防犯でととのう
→海拔ゼロメートル地帯に応じた防災、高い建物の設置
→空き家を有効活用して交流スペースをつくる

・上流と協力してととのう
→上流からの環境保全、資材活用により流域全体で相互発展する

主たる公約

1. 健康をととのえる
→誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり

2. 環境をととのえる
→流域全体のまちづくり

3. 人権をととのえる
→誰もが平等に参加できるまちづくり

マニフェストのまとめ

1. 蟹江の課題の中でも健康、環境、人権に着目した
2. 公約を通して蟹江が住みやすいまちにととのう
3. 人を育てる政策を通して、木曽川流域圏全体、日本、世界に貢献する人を育てる



公約3. 人権をととのえる

→誰もが平等に参加できるまちづくり

具体的方策（政策）

・教育をととのえる
→教育の無償化による学び、学び直しの促進
→コラーニング・コワーキングスペース活用による世代間交流

・格差をととのえる
→経済的不平等をなくす
→ジェンダー格差をなくす

・主権をととのえる
→政治に関心をもつイベントやセミナーなどを開く

・交流をととのえる
→既存の交流スペースを活用したイベントを開く
→空き家を活用したゲストハウスなどにより関係人口を増やす